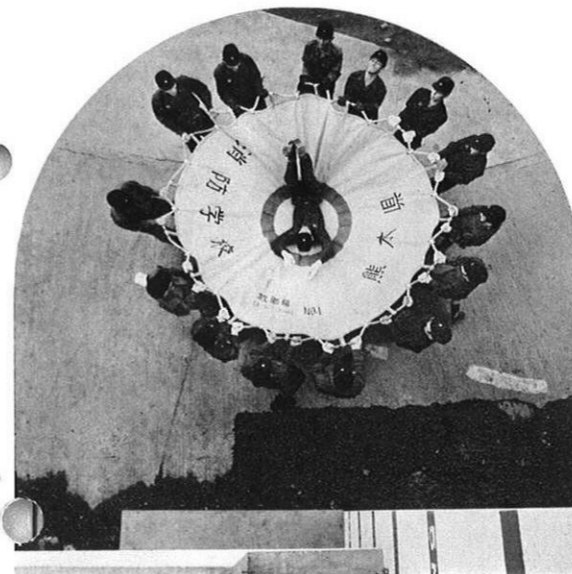
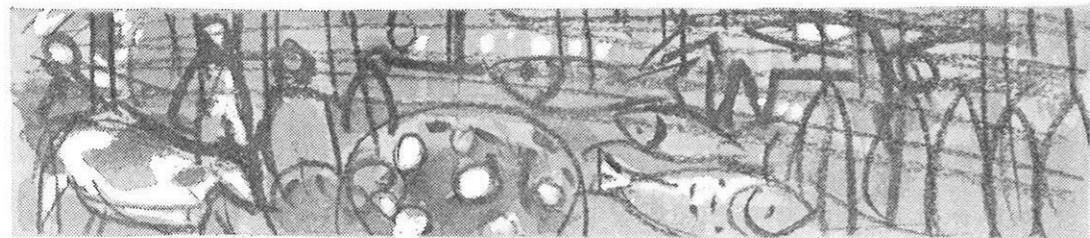




広報くまもと

1964  
NO. 170 特集

# ことしの県の台所



救助幕を上げて、救助訓練……

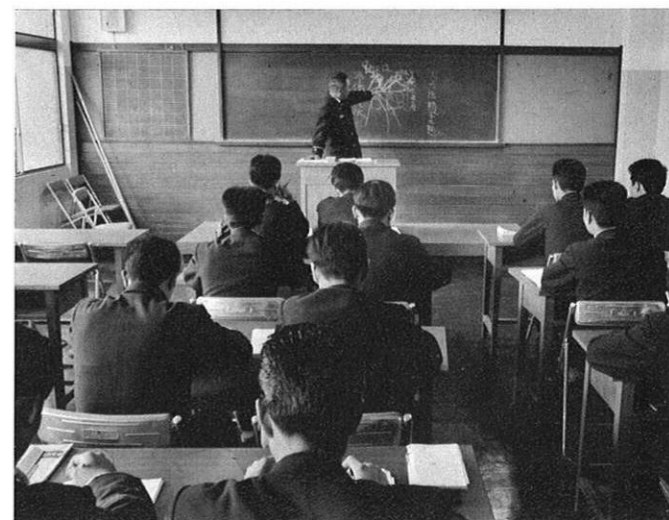


スノーケル車による実技訓練

下・ポンプ自動車の操法訓練風景



下・教養専科にも重点がおかれている



## 豊かな教養と技術を

「消火消防」より「予防消防」をモットーに、消防職員と団員の技を磨く県消防学校が人づくりの一環として昨年の10月開校した。

この学校では、市町村の消防署職員と消防団員を対象に、年間約2,000人が宿泊して訓練が行われる。教養科目は自動車操縦、無線技術をはじめ、実技訓練も救助技術などがあり、消防活動のプレーンがこの学校から巣立っていくわけである。

## 目次

解説 ことしの県の台所……………8

□動き出した新産業都市……………26

△焦点▽きまった新県庁舎の敷地……………31

★第一線の人びと……………26

〃県税務職員〃……………26

★新産業風土記……………36

〃返り咲いた鹿北町の特産品群〃……………36

随想……………6

〃落合千年・老人会私見〃蒲池正紀……………6

## △グラビアページ▽

□備えあれば……………3

□若者たちの広場……………17

□夏を呼ぶ風物詩 (来民うちわ・関素類)……………22

□税メンの一日……………24

□たけのこ……………37

□県政ハイライト……………38

☆センター〃球磨川〃……………20

☆表紙写真は〃来民うちわ〃